

# 目 次

## 第1部 生物多様性ぎふ戦略の再構築 ～見直しにあたっての2つの柱～

### 1. 清流の国ぎふ憲章について

- 1-1. 清流の国ぎふ憲章と生物多様性ぎふ戦略・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 1-2. 清流の国ぎふ憲章における位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

### 2. 清流の国ぎふ森林・環境税について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

### 3. 各主体との連携・協働について

- 3-1. 市町村の地域戦略との位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3-2. 戦略の推進に向けた各主体との協働・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

## 第2部 「生物多様性ぎふ戦略」の構築

戦略の構築に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

生物多様性の概念・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

岐阜から生物多様性を考える

地形の多様さ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

森林について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

動物について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

樹木の遺伝的多様性・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

“好ましい自然”について、みんなで考えることの重要性・・・・・・・・・・ 20

## 第3部 目標と施策

### 1. 森・里・川・海つながりを守る

【目標：10年後の目指すべき姿】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

#### 1-1. 森林生態系の保全・再生

①自然林の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

②間伐等による多様な森林への誘導・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

③森林の生み出す環境価値の活用（Jクレジット制度の活用）・・・・・・・・ 27

④ニホンジカの個体数管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

#### 1-2. 里地・里山生態系の保全・再生

①里山の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

②水田生態系の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31

1-3.	湿地・河川生態系の保全・再生	
	①自然と共生した川づくり	33
	②魚道のモニタリング・管理・補修	33
	③タマリ、ワンド、湧水湿地等の保全	33
1-4.	外来種・国内外来種の防除	
	①外来種・国内外来種の侵入防止	35
	②外来種の駆除	37
1-5.	絶滅危惧種の保全	
	①指定希少野生生物保護区の指定	37
	②公共事業における生物多様性配慮	38
	③絶滅に瀕している種の生息域外保全	38
	④密猟、密漁の防止	38
1-6.	野生鳥獣の保護管理	
	①鳥獣被害対策本部の設置	38
	②野生鳥獣との棲み分け	38
	③野生鳥獣の個体数管理	40
	④狩猟者の育成	40
2.	いのちを活かし、暮らしにつなぐ	
	【目標：10年後の目指すべき姿】	42
2-1.	森林の持続可能な利用	
	①間伐材等の利活用	42
2-2.	里地里山の持続可能な利用	
	①生物多様性保全を重視した農業の推進	43
	②「里山の幸」の利活用	43
2-3.	里川の持続可能な利用	
	①「清流長良川の鮎」の理念の継承	43
2-4.	野生動物の持続可能な利活用	
	①川魚の利活用	43
	②獣肉の利活用	44
2-5.	生物多様性を活用したツーリズム等	
	①エコツーリズム、グリーン・ツーリズム	44
	②自然公園や身近な自然の活用	44
	③生物多様性の文化的価値の理解と活用	45

3. とともに考え続ける	
【目標：10年後の目指すべき姿】	47
3-1. 生物多様性に関する普及啓発	
①生物多様性保全に主体的に取り組む人材の育成	47
②温暖化による生物多様性への影響についての理解の醸成	48
③レッドデータブックの整備と活用	48
3-2. 保全技術等の伝承	
①伝承者の活用	48
②拠点の確保	48
③子ども達への自然原体験の機会付与	49
3-3. 「とともに考え続ける」場づくりと活動	
①活動時における専門家の関与	49
②団体どうしの情報交換・交流	49
③上流・下流の交流	51
4. 生物多様性ぎふ戦略 施策ごとの指標と実績	52
5. 森林・環境基金事業に基づく指標と目標数値一覧	53
おわりに	56
《参考1》ぎふ戦略策定及び見直しに係る検討の経緯	57
《参考2》ぎふ戦略策定及び見直しに係る研究会・検討委員会等構成員	58